

「明日の京都」ビジョン懇話会 福祉・医療部会提案

中心テーマ	誰もがどこでも安心して暮らす（ノーマライゼーション）ことのできる共助型の福祉・医療社会をつくること
-------	---

検 討 事 項	ミ ッ シ ョ ン	成 果 目 標	参 考
地域社会の中で、地域総掛かりで、互いに支え合う共助型福祉システムをつくるための方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政や企業、地域のNPO等によるセーフティネットを強化できる環境を整備すること。 ・ 一方通行でなく、世代を超えて双方向に循環していくシステムを構築すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者、障害者、子育て家庭等の間に交流が拡大すること。 ・ ワンストップで何でも相談できるようになること。 ・ ネットワークを結ぶファシリテーター等が育つこと。 ・ 高齢者、障害者、子育て家庭等の間に交流が拡大すること。（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者と障害者、子育て家庭等が交流する空間づくり ・ ワンストップ相談窓口の設置 ・ 支援ネットワークを結ぶファシリテーターやネットワークコーディネーターの育成、人材バンク的な制度の創設 ・ 福祉ボランティアの「タイムバンク」制度等の普及
福祉の「セーフティネット」を構築していくための方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療や介護を必要とする人が、十分なサービスを受けられるようにすること。 ・ 行政や企業、地域のNPO等によるセーフティネットを強化できる環境を整備すること。（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設、介護人材の不足が解消されること ・ 医療・介護の南北格差が縮小されること ・ 高齢者、障害者、子育て家庭等の間に交流が拡大すること。（再掲） ・ ワンストップで何でも相談できるようになること。（再掲） ・ ネットワークを結ぶファシリテーター等が育つこと。（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職のキャリアアップと介護を職業とする人材の育成と社会的地位の向上 ・ リハビリ施設等センター的な施設を整備し、センターでのOJT的な人材育成 ・ ワンストップでの相談窓口の設置（再掲） ・ 支援ネットワークを結ぶファシリテーターやネットワークコーディネーターの育成、人材バンク的な制度の創設（再掲）

検 討 事 項	ミ ッ シ ョ ン	成 果 目 標	参 考
<p>高齢者や障害のある方、子育て中の親が生きがいと誇りをもって活躍でき、誰もが不安なく子育てができる社会をつくるための方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や障害者、子育て中の親の生きがいづくりを応援すること。 ・ 高齢者や障害者、子育て中の親の孤独感を減少すること。 ・ 行政や企業、地域のNPO等によるセーフティネットを強化すること。(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気高齢者が地域で知識や経験を生かしながら創造的活動を行う生き方が広がること。 ・ 高齢者、障害者、子育て家庭等の間に交流が拡大すること。(再掲) ・ すべての子どもが自立できること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続的で興味を持てる高齢者用プログラムの作成 ・ 行政や企業、大学などのコラボレーションによる創造的活動の展開 ・ 老人ホーム併設の小学校の設置 ・ 福祉ボランティアの「タイムバンク」制度等の普及(再掲) ・ 地域力再生事業などの地域の自主活動支援 ・ ワンストップでの相談窓口の設置(再掲) ・ 支援ネットワークを結ぶファシリテーターやネットワークコーディネーターの育成、人材バンク的な制度の創設(再掲) ・ 養護施設の子どもの自立支援
<p>子どもの権利が守られ、幸せな家庭を築くことができる社会を作るための方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ あらゆる社会の取組に子どもの目線を入れること。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの視点も配慮したハード整備
<p>障害のある方が障害があることのみをもって不利益を受けることがない社会を作るための方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者が幅広い世代の健常者と共に学び、生き生きと生活できる環境づくりをすること。 ・ 障害に対する社会全体の理解が進むようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校等で、障害の有無に関わらず、子どもが共に学べるようになること。 ・ 高齢者と障害者が一緒に生き生きと生活できるようになること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合・複合的な交流・生活拠点の整備
<p>医療現場における様々なミスマッチの解消や最新のIT技術などを活用した医療・福祉の空白地域解消のための方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ がんやリハビリ等医療や介護を必要とする人が、十分なサービスを受けられるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホスピスの病床数、リハビリ施設の施設数の増加、必要な人材が確保されこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホスピスやリハビリ施設等センター的な施設を整備し、センターでのOJT的な人材育成(一部再掲)

検 討 事 項	ミ ッ シ ョ ン	成 果 目 標	参 考
<p>予防医学、緩和医療、食品医療、福祉器具開発など、福祉・医療分野の研究開発を推進し、府民の健康増進に結び付けていくための方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 府民の健康寿命を延ばすこと。 ・ がんやリハビリ等医療や介護を必要とする人が、十分なサービスを受けられるようにすること。（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ メタボリック症候群が減少に向かうこと。 ・ ホスピスの施設数・病床数、リハビリ施設の施設数の増加、必要な人材が確保されること。 ・ 急性期病院の後方病院を整備・支援すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療全般等に係るインフォメーションセンターの設置 ・ 個人の様態にあわせた、楽しみながら継続できる予防医学プログラムの開発、普及 ・ ドラッグストア等身近な場所での健康情報の提供 ・ ホスピスやリハビリ施設等でのセンター的な施設を整備し、センターでのOJT的な人材育成（再掲） ・ 医療全般等に係るインフォメーションセンターの設置（再掲）
<p>府民が自らの健康を守っていくことができる社会を作るための方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 府民の健康寿命を延ばすこと。（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診断受診率が向上すること。 ・ 府民が主体的に健康づくり等に取り組むようになること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検診を受けやすい制度の工夫 ・ 個人の様態にあわせた、楽しみながら継続できる予防医学プログラムの開発、普及（再掲） ・ ドラッグストア等身近な場所での健康情報の提供（再掲）

(参考資料)

■ 福祉・医療部会の開催経過

	日時・場所	内容
第1回	平成21年6月15日(月) 15:15~17:15 府庁 西別館大会議室C	・専門部会の進め方、アウトプットについての確認 ・専門部会における検討事項についての確認
第2回	平成21年7月14日(火) 15:15~17:15 府庁 政策企画部会議室	・次のとおり、テーマに基づき、ゲストスピーカーを招聘し、議論 ①「 <u>緩和ケアや終末医療</u> 」について 細川豊史氏 (京都府立医科大学附属病院麻酔科病院教授、疼痛緩和医療部長) ②「 <u>予防医学</u> 」について 高波嘉一氏 (京都府立医科大学予防健康医学講座准教授)
第3回	平成21年7月21日(火) 15:15~17:15 府庁 商工労働観光部会議室	・次のとおり、テーマに基づき、ゲストスピーカーを招聘し、議論 ①「 <u>元気な高齢者の社会参加策や格差対策</u> 」について 岡本民夫氏 (同志社大学名誉教授、社団法人京都ボランティア協会理事長) ②「 <u>格差社会における子育て支援や多様な働き方に対応した子育て支援</u> 」について 齋藤佳津子氏 (財団法人京都YMCA幹事、京都教育大学非常勤講師)
第4回	平成21年9月8日(火) 15:15~17:15 府庁 政策企画部会議室	・第2回、第3回部会でのゲストスピーカーからのスピーチを踏まえ、事務局が作成した「福祉・医療部会提案(案)」について、幹事部局から説明後、意見交換

■ 第2回~第4回の会議概要

別添のとおり